

山岳科学総合研究所 友の会公報

2013年3月 第9号



「静謐の中 春を待つ焼岳」 撮影：奥原仁作

もくじ

第6回乗鞍現地研修会 報告	2
会員リレーコラム	2
・板垣恭子	
・森川 優 「第6回現地研修会（初参加談）」	
上高地クエスチョン	4
おしらせ	4
編集後記	4

第6回乗鞍現地研修会 報告

2月16-17日乗鞍ステーションにて第6回現地研修会が行われました。

スキーやスノーシューを楽しみ、地元の福島さんから乗鞍の歴史などのお話しをお聞きしました。戦争などで幻となった「第五回冬季五輪の開催計画」のお話しに一同興奮し、乗鞍火山噴火で出来た溶岩台地の乗鞍地形の話でも盛り上がりました。

乗鞍と言えば温泉。銀山荘の温泉も満喫して、交流会は特製の鍋を囲んで深夜までの懇親会。日本酒6本にワイン5本にビールと驚きの飲みっぷりだ。折しもロシアの隕石落下のニュースに、昨年の坂本先生の「隕石クレータ研修」の話題など復習にも余念のない仲間たちの話は、お酒とともに大盛況だった。

翌朝は、最近の山スキー事情を道具の進化などの説明で盛り上がり、この時期としては珍しい好天の中、参加者16名はそれぞれ山スキー組とスノーシュー組に分かれて目的地に向かった。山スキー組はリフトを乗り継ぎ、位ヶ原からから通称「屋根板の坂」の上、大雪溪下の辺りまで登りを素晴らしい眺望を満喫し、帰りは快調に滑り降りてきた。



スノーシュー組は凍りついた善五郎の滝から休暇村、牛留の池、一之瀬園地と約3時間コースを、樹木や鳥類を観察しながら回った。スノーシュー愛好者が多く、クロスカントリースキーなど雪の楽しみ方が多様化していることを感じた。

お昼は前日から仕込んだ特製カレーを美味しくいただき午後解散した。

小林 記



リレーコラム



山が好きで長野県に移り住んで早10数年。

最近では以前ほどの勢いもなく細々と里山を楽しむ程度になりましたが、いつかは再び北アルプス縦走に思いをめぐらせながらお酒をちびちび飲み、山岳雑誌を見ているこの頃です。(昔は山ガール、今は酒おばさん)

2月の第6回現地研修会に参加させていただきました。1日目は福島 真さんから「乗鞍高原の自然と文化」と題してお話がありました。乗鞍の成り立ち、地形、気候の特徴、歴史など幅広い話で、宿のオーナーをしながらここまで詳しく調べられたことに驚きました。また南極越冬隊の冬季訓練のお手伝いをされた話など聞き入る話ばかりで福島さんいわく、「まだまだ引き出しは沢山ある」とのこと。時間が短いと思うほどの内容でした。



2日目は奥原仁作さんのガイドでスノーシューで自然観察に行き、善五郎の滝では青緑色した氷壁（これがアイスグリーンと言われる色？）を見ることができました。勢いよく流れ落ちる滝まで凍り付く寒さ。さすが乗鞍。その後は牛留池などめぐりながら奥原さんから乗鞍の生活からみる現在の樹木の成り立ち、草木の冬芽、木肌の特徴からわかる樹木の名前、雪の上につけられたリス、キツネ、ウサギなどの足跡の特徴などの話を聞きながら、この日は無風、薄日がさし雪の中での散策日和、充実した自然観察でした。

奥原さんが「来年、雪の上での火のおこし方をやろう」と言われたことがかなり印象に残って、もう来年の冬を待ち望んでいます。奥原さん、よろしく願います。

夜の交流会を含む2日間、楽しい研修を終えることができました。これからもできるだけ参加していきたいと思います。よろしく願います。

板垣恭子



第6回現地研修会（初参加談）

当日は私の住む駒ヶ根からの参加でありましたが、前日からの大雪のため中央道が10km渋滞しておりました。このため、13時信大集合に余裕をもって10時半に出発をしましたが、10分遅れで信大に到着をしました。そして、乗鞍高原のステーションにはぎりぎりの到着となりました。このため、参加者のみなさんが建物の周りでお待ちいただくことになってしまいました。ある方は日にちを間違ったかもと問い合わせをされていました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。



私は昨年4月に入会をし、今回が初めての参加であります。今回の楽しみは雪と温泉と・・・です。雪の楽しみは初めてのスノーシューによる雪原散歩です。事前に近くのスキー場などで練習を行っていましたがみなさんについていけるか心配でした。幸いにも森の生態や歴史をガイド役のかたが丁寧に説明していただいたので、休息を兼ね無事完走できました。特別な技術がいらず、雪のない時には入れない森の中に入っていけるのが魅力です。多くの年代の方に人気が出てきたことに身を以て発見することができました。次の楽しみであります温泉は隣家の銀山荘さんにお世話になりました。400円という安さに驚かされ2回利用し、出てきたときの体の芯から温もりは寒さと疲れを忘れさせてくれました。そして、今回最も楽しかったことはおいしい料理とおいしいお酒です。この潤滑油のおかげで懇親会は盛り上がり、初めて参加の私もみなさんと和気あいあいと話をすることができました。私は宴会途中で布団に入ることになり最後までお付き合いができず残念でした。翌日聞いたところ飲んだ量は半端なく多く、しかも持参したお酒の半分であったことは、どれほど飲む人たちかと想像して恐ろしくなりました。



最後に中央アルプス千畳敷の現在の様子と信大の観測施設の写真を掲載しておきます。

こんごともよろしく願います。

森川 優

?上高地クエスチョン?

?進化したマガモ?

ガイドで大正池に向かっていたとき、面白い光景を目にしました。一羽のマガモが水面から消えてしまったのです。そうです、完全に潜水して10秒ほどもその姿を消して、なにかを啜って上がってきたのです。

よく見ると小魚なのです。それを2~3回は噛むような素振りをして呑みこんでしまいました。

その後も幾度か同じような行動を繰り返し、3~4匹の魚を食べていました。

私の感覚でマガモの採餌は嘴の届く程度の浅瀬で、お尻を上げて首を水中に突っ込み、水草等を食べる(草食系?)、というものでした。まさか潜って泳いで魚を食べているなんて。みなさんいかがでしょうか。(松田俊雄さん談)



お・し・ら・せ

◎山岳科学総合研究所友の会 2013年度通常総会

すでにご案内をお送りしておりますが、4月7日に2013年度通常総会を行います。皆様のご参加をお待ちしております。

なお、欠席される場合にも必ず委任状に記名押印の上、ご返送願います。

(※3月29日(金)までにご投函ください。)

◎市民教養教室のお知らせ

信州大学全学教育機構後期講座土曜市民教養教室で「巨大地震を起こした活断層を現地で見ると見る」を開催します。

講師：大塚 勉(信州大学全学教育機構教授・山岳科学総合研究所兼務教員)

濃尾地震(1891年)を起こした根尾谷断層(岐阜県本巣市)と兵庫県南部地震(1995年)を起こした野島断層(兵庫県淡路市)について学んだ上で、実際に断層露頭を訪れます。実施日は4月20日(室内)および5月25日・26日(現地)。

詳しくは信州大学学務課教務グループ 高木・奥原(Tel.0263-37-2870)までお問い合わせください。申し込み締切は平成25年3月28日(木)です。

◎リレーコラムと表紙写真を随時募集しています

日ごろ思うことや、山への思い、友の会への要望や提言などなんでも結構です。4月からは3か月おきで発行を予定しています会報へ「コラム」をお寄せください。

また、表紙を飾る写真も募集します。応募が多数の場合は、ご期待に添えない場合がございますので、何とぞご了承願います。

編集後記

漸く春の息吹が感じられるようになりましたが、上高地の積雪は1.5m(3月初め)ほどもあります。道路の雪、シーズン・インに間に合うのでしょうか。

3月は別れの季節。ラジオをかけると春の歌や別れの歌がよく流れています。出会いは別れの始まりでもあります。別れはさみしいものです。

友の会も新しい年度を迎えます。13年度の事業も会員の皆さまに参加していただける内容をいろいろ考えています。一度も参加されていない皆さま是非一度は参加してみてください。楽しいですよ。お待ちしております。(友の会会報編集委員会)

山岳科学総合研究所友の会会報 第9号

発行日：2013年3月8日

発行：山岳科学総合研究所友の会

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

信州大学山岳科学総合研究所友の会事務局

TEL：0263-37-2432 FAX：0263-37-2438

E-mail：ims-support@shinshu-u.ac.jp